

7. その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率の集計方法と定義

※ 医療の質の改善に資するため、臨床ゼロにはなりえないものの少しでも改善すべきものとして、重篤な疾患である敗血症(注2*)、播種性血管内凝固症候群、手術・術後の合併症、その他の真菌症について、入院契機病名(DPC6 桁レベル)の同一性の有無を区別して患者数と発症率を示しています。

(注1*)DIC(播種性血管内凝固)とは

様々な基礎疾患に合併して凝固系が亢進し、全身の細小血管内に微小血栓が多発して臓器障害が起こる病態。これに伴って凝固因子、血小板が大量に消費されて減少し、また線溶系も亢進するため出血症状をきたす。原因となる基礎疾患には悪性腫瘍、敗血症が多い。【引用元:医療情報科学研究所 メディックメディア 病気がみえるVol.5 血液】

(注2*)敗血症とは

細菌感染によって引き起こされる全身性炎症反応(SIRS)【引用元:医療情報科学研究所 メディックメディア 病気がみえるVol.5 血液】

| DPC6桁 | 傷病名 | 入院契機 | 症例数 | 発生率 |
|--------|-------------|------|-----|-------|
| 130100 | 播種性血管内凝固症候群 | 同一 | 6 | 0.08% |
| | | 異なる | 27 | 0.36% |
| 180010 | 敗血症 | 同一 | 22 | 0.29% |
| | | 異なる | 20 | 0.27% |
| 180035 | その他の真菌感染症 | 同一 | 1 | 0.01% |
| | | 異なる | 3 | 0.04% |
| 180040 | 手術・処置等の合併症 | 同一 | 97 | 1.30% |
| | | 異なる | 4 | 0.05% |